

開催日時 2024 (令和6) 年2月26日 (月) 15:00～

場所 藤沢市立羽鳥中学校 図書室

出席委員等	<ul style="list-style-type: none"> ・青木 茂道 (会長 / 青少年育成協力会会長) ・小河 愛由美 (地域協力者) ※欠席 ・能勢 敏之 (民生委員・児童委員) ・秋田 典子 (主任児童委員) ・市村 慶子 (社会福祉法人いきいき福祉会館ラポール城南) ・岩淵 富美代 (前学校評議員) ・齋藤美江子 (元PTA会長・前学校評議員) ・林 久美 (前学校評議員) ・西塔 光好 (元中学校教頭) ・三觜 恵加 (PTA会長) ・戸塚 渉 (明治市民センター長) ・若林 理恵 (藤沢市社会福祉協議会明治地区担当 CSW) ・教育総務課 近藤雅美様 ・深津 礼子 (藤沢市立羽鳥中学校 校長) ・平井 早苗 (藤沢市立羽鳥中学校 教頭)
次第	<p>1. 開会 深津校長より 学校運営協議会にご出席いただき感謝申し上げます。委員の方々とも話しもでき、学校運営のために様々なご協力を頂いています。</p> <p>本日3年は卒業遠足に出かけています。また今週は公立発表を控えています。1, 2年は進級に向けて準備をしている段階です。諸活動の中でも「最上級生に向けて」「新1年生も入学してきて、先輩になる」等の声かけも多くなってきています。</p> <p>次年度へ向けても様々なご意見を頂きたく思います。よろしく願いいたします。</p> <p>2. (1) 2024年(令和6年)度 学校教育目標について 深津校長より 今年のグランド目標については、昨年度の学校評価や昨年度のものを引継ぎ、そして校長自身の思いを込めました。</p> <p>2024年度については、学校への思いを教職員からも意見をもらっています。</p> <p>「ほっとする学校、居心地のいい学校(生徒にとっても教職員にとっても)」「感動体験できる学校」「生きることを育むことができる学校」ができています。</p> <p>生徒像としては「主体的に行動できる」「自分も他人も大事にできる(自他を大事にできる)生徒」「心身ともにたくましい生徒」と言葉がでてきました。様々なことが起こりうる世の中を生き抜いていく力をも育んでほしいとの思いもあります。</p>

教師像としては「信頼できる（生徒からも保護者からも）教師」「努力できる教師」（工夫して失敗を糧にしながら進む）

まだ検討中の段階も多々ありますが、教職員の意見や考えなどを聞きながら進めていきたいと考えています。

学校教育目標は、羽鳥中がずっと引き継いでいるもので、ここに関しては引き継いでいきたいと考えています。

（２）2023（令和５）年 学校評価について

深津校長：実施方法の概要を説明

①学校生活について

概ね高い評価を生徒・保護者から頂いている。教職員への対応に関しても良い評価を頂いている。

保護者・地域との連携に関しては、他の項目と比較すると低い値になっている。次年度以降、より地域との連携を大事にしていきたい。

②授業について

生徒からは「授業はわかりやすい」「(自分の)評価は妥当性がある」と思っている。一方、保護者からは「評価が妥当である」という視点は低くなっている。

今年度、単元テストが実施された。定期テストのようになかなかテストに集中できないことへの課題があった。次年度以降も単元テストを実施していくので、学習の習慣を身につけていきたい。

③進路について

進路情報について、状況に応じて対応している。

３年は具体的な進路に向けて、１、２年では自分の将来・進路を考える様々な視点を醸成している。２年ではキッザニアでの活動や職業体験・職業調べなどを通じ、将来を考えることができるように進路教育を考えている。

④生徒会・委員会活動

生徒から「積極的に参加している」という数値が低い。委員会活動に参加できる生徒の人数が制限されてしまうことも影響しているかもしれない。

生徒会本部役員中心になって「月１レク」なども実施している。

⑤生徒指導・支援について

全国的にみて SNS 関係のトラブルが多くなっている。生徒への注意喚起等を継続していきたい。

⑥その他

ICT をより活用できる場面もあるかと思うとの意見を頂いている。今後、検討していきたい。

（ 資料 参照数時間を設けた。 ）

市村委員：学校評価は藤沢市として行われているのか。

校長：学校で行っている。質問等は、学校の状況に応じて行っている。

市村委員：SCとの関わりは怎么样了のか。

校長：週2回、2人のSCが来ている。

市村委員：ICTを活用した情報の伝え方は。

校長：すぐメールを活用している。タイムラグが生じるので、そこが課題になっている。

秋田委員：生徒と保護者との答えの差があるのは、保護者は学校に行っている様子もなかなか見られないので、厳しく思ってしまう可能性もあるのではないか。大きな苦情もなさそうで、学校全体としては、生徒達と教職員との関係が良好な証拠ではないでしょうか。

(3) 各委員様からの次年度へ向けて・今現在取り組まれていること

戸塚委員：明治中の「お仕事体験」に関わった。明治市民センターに1名、1日体験をしてくれた。「センターは何をしているかわからない。だから市民センターを（体験場所に）選びました。」との言葉があった。次年度も引き続き活動場所を提供していきたい。

学校には行けないけれど、外出の選択肢の一つとしてセンターができればいいのではと考えている。

林委員：他学年との関わりも再開しているのはいいことだと思う。学校での掃除をしている様子もぜひ、保護者の方に知ってもらいたい。学校に来る機会が保護者にもあればいいと思う。

秋田委員：青少年指導員として月2回下校パトロールしている。生徒達が挨拶してくれるのは、やはりうれしいもの。(羽鳥中学区ではないが)朝のパトロールをしたが、生徒の様子も見られ、いいものだと思う。

齋藤委員：親鳥の会で、活動をしている。花壇がきれいになってとてもいいと思う。

PTAだけではなく、親鳥の会に入っていなくても関わられる機会があればと思う。(職場体験場所を)地域の中で受け入れてもらえる職場を運営委委員会で探してもいいと思う。

西塔委員：保護者と子どもとの会話が多くとれているかな、と思う。地域の連絡として各学年だよりを町内会でも回覧したらどうでしょうか。

岩淵委員：近隣に住んでいて、いつも学校の生徒達が挨拶してくれるのは本当に有り難いと思う。

三觜委員：学校評価のまとめについては、昨年同様の意見ですが、(学校で)アンケートを出せなかった子どもたち、もしくは評価をつけられず提出した子ども達の気持ち(様々な思い)を匿名で出せる何かがあると助けを求める子ども達への取組を考えることへつながるかもしれません。

全体的な学校評価は高いですが、評価につながらなかった子たちの気持ちを考えてもらいたいです。

学校の花壇ボランティアをPTAの委員に限らず募集はしましたが、一般の保護者の方々からの返信はありませんでした。花でつながる保護者の居場所としても発信していきたい。

若林委員：個別の相談に関して学校から保護者様から連絡を頂き、対応をしています。相談を遠慮している保護者様と学校をつなぎ直したり、保護者の相談から見えてきたお子さんの対応をすることもあり、皆様と連携して関係が続けています。長期欠席の子ども達の場所について、市社協でも取組を始めました。

能勢委員：選挙の立ち会いを行ったが、中学生が保護者といっしょに十数名見かけた。それにより選挙を知る機会になったのではないかと興味を持ってもらえればと思う。選挙権は18歳からあるので、家庭・学校の(選挙を知る)機会を設けるなど必要ではないかと思われた。

青木委員：(選挙について)投票率が低くなっていたけれども、今年の市長選の投票率は35パーセントで以前よりは少なかった。

市村委員：美術部作品を展示させてもらったりしている。美術部の作品はとても好評です。「かるがも」で行われている子ども食堂は、生活苦ということだけではなく、保護者が不在で孤食をさけるために活用している子もいる。次年度からは定期的の実施したいが、担い手の確保を検討していく予定です。

不登校生徒さん対象に通える場所として公民館が活用できるといいと思う。

青木会長：コミスク自体の活動をより活発にしていくようにできるよう、次年度取り組んでいければと思う。(羽鳥中学校は)伝統的に以前はオーストラリアとの交流があった。また、夏には清掃活動にも取り組んでいた。ボランティアで森林ボランティア活動をもしていた。体験学習が絡んでくるととてもいいと思う。

(株)ペガサスが、防災に関する取組事業を行っている。藤沢市の学校を対象に参加を募っている。参照にしていきたい。

羽鳥中は、さまざまな活動が行われていた。コロナでストップしてしまっているのが、再開、発展できればと期待したい。

総務課：次年度は40校にコミスクが開催される。委員さん対象に研修も予定されているので、参加を待っています。

青木会長：次年度も様々な貴重な意見を参考にしていきたいと思う。

3. 校長より

- ・卒業式についての確認(動き・儀式の内容等)
- ・入学式について(4月5日 13:30開始)

4. その他

5. 閉会

深津校長：コミスクの運営のやり方など、次年度はより活発にできればと思う。